

V I A J E

abril 13, 2018
土井先生の活動日記
Honduras Vol.13

地図で見るよりはるかにでかい中米

みなさんこんにちは。4月の1週目はお休みを頂き、スペイン語の試験を受けるため、隣国のニカラグアとその隣のコスタリカへ行ってきました。そのついでに、ニカラグアで活動している同期の小学校隊員がいるので、彼らの活動ものぞき見してきました。

飛行機でテグシガルパ（ホンジュラス）→サンサルバドル（エルサルバドル）→マナグア（ニカラグア）のルートで飛びました。飛行機だと乗り継ぎ時間を除いて2時間程度です。

着いた次の日は朝5時からバスに3時間乗って、ニカラグア3番目（4番目？）に大きいエステリへ。そこで同期隊員が活動している小学校の一つと、教師のたまごたちがいる教員養成学校の授業を参観してきました。学校の雰囲気は隣国ってこともあって、非常に似ています。違ったのは、学校で普通に水道が使える、その水を子ども達が普通に飲んでいること。土井先生が行っている学校では水はトイレを流すのと、床を掃除する時用の水が溜めてあるだけで、飲み水は売店で買わなければなりません。

コスタリカではコーヒー農園を訪ねました。日本はコーヒーを中米からも輸入しています。日本でコーヒー一杯は100円～500円程度。一杯のコーヒーを作るのに使うコーヒーの量は概ね10g。でも、そこで働く人たちの賃金はそれほど高くないのが現状です。

ニカラグア・エステリの小学校の子ども達 水道はこの1カ所のみ

ニカラグア・エステリで教員養成校の高校生たちと同期ボランティア



コスタリカ コーヒーの花

コスタリカ コーヒー農園で栽培されているカカオ（チョコの原料）

コスタリカ コーヒー農園のガイドさんとアメリカ人観光客 このカゴ一杯にコーヒーを摘んで、もらえるお金はわずか3ドル（約325円）